

Learning Objectives(2025/8/20～9/5 in Malaysia)

東南アジア地域の子どもたちと地域住民を対象とした防災教育の国際協働実践プログラム

- 1日目 出発
- 2日目 USMでの講義
- 3日目 博物館、チョコレートショップ、UUMへ移動
- 4日目 ピッチパーフェクト
- 5日目 防災教育の講義
- 6日目 防災教育教材の準備
- 7日目 SMKチャンルンへ移動
- 8日目 地域避難訓練説明
- 9日目 KAMCでのICT避難訓練
- 10日目 ポスター最終準備
- 11日目 ポスター発表資料
- 12日目 アロースター(独立記念日パレード見学)
- 13日目 学生発表準備、発表レビュー
- 14日目 専門家セッション、ACP会議
- 15日目 アロースターからクアラルンプールへ移動
- 16日目 クアラルンプール1日観光
- 17日目 帰国



独立記念日の写真

tips

活動の様子(動画)

Q,現地の学生とどのようにして、コミュニケーションを取ったのか？
A,基本的に、コミュニケーションは英語で取っていた。また、英語が分からない時はジェスチャーなどを使って伝えたり、それでも難しい場合は、ChatGPTでの翻訳を使って意思疎通を図った。

Q,現地の学生と仲良くなったきっかけは？
A,アイスブレイクなどの企画で互いの距離を縮めたり、一緒にダンスを踊ったりして盛り上がり仲良くなれた。



ペトロナスツインタワー



DRR Education at SMK Changlun Junior high school with Developed Game Contents

1 班【防災マッチゲーム】
二種類のカードをつくり対応するものを選ぶゲーム！



2 班【共助サバイバル】
災害エリアから安全な場所へ助け合いながら避難するゲーム！



3 班【アイテム分けゲーム】
用意されているいくつかのアイテムの中から災害時に必要な物を考えるゲーム！



4 班【災害時分析ゲーム】
カードに映っている写真が災害時のどの状況のものを考えるゲーム！



5 班【洪水脱出迷路】
危険な場所を避けて安全な場所に避難するゲーム！



6 班【伝言ゲーム】
災害時にコミュニケーションの重要性を理解するゲーム！



7 班【カップ・ピラミッドゲーム】
災害時に協力することの大切さについて学ぶゲーム！



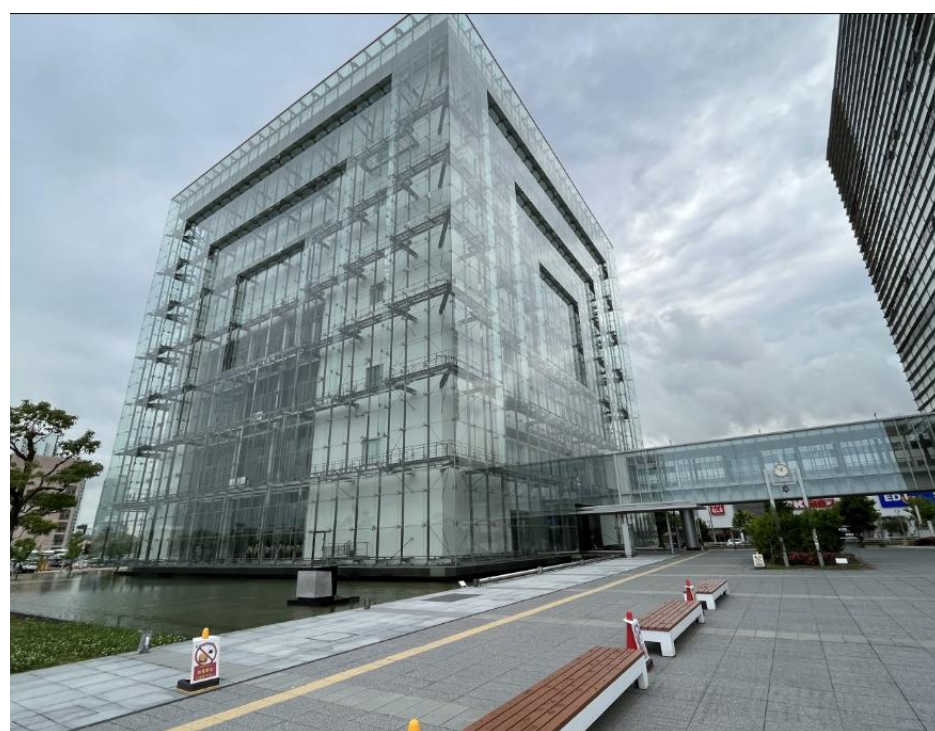
ICT Evacuation Drill In KAMC

- 避難訓練
- ・WhatsApp (SNS) での災害情報共有システムの説明
- ・洪水発生時の避難ルートと危険個所の確認



Preliminary and Reflection Learning

- 事前学習
- ・人と防災未来センター
- ・神戸モスク
- 事後学習
- ・振り返り



【出前授業】 DRR Education at SMK Changlun Junior high school



学んだこと

- ✓ 体験を通して学んでもらうことで、言葉だけでは伝わらない日本文化の楽しさや魅力を感じてもらえた。
- ✓ 日本のように計画を重視する方法とは異なり、相手に合わせて工夫する大切さを学んだ。
- ✓ 開始当初は、不安と緊張で現地の中学生とどのようにコミュニケーションを取ればよいか悩んだが、その場に合わせて臨機応変に対応し、何よりも自らが楽しまないと交流が始まらないことを学んだ。
- ✓ 授業後の交流では、笑顔やリアクションを通じて国を越えたつながりを感じた。



【地域住民との避難訓練】 ICT Evacuation Drill In KAMC

学んだこと

- ✓ 緊急時には「正しい英語」よりも「伝えようとする姿勢」が大切だと感じた。
- ✓ 英語で避難の指示や安全確認をする際、すぐに言葉が出てこない場面があった。

日本との比較（今回の訓練において）

日本

- ・ 様々な災害を想定する
- ・ 幼稚園等における幼少期からの定期的な避難訓練の実施

マレーシア

- ・ 役割を決めて訓練
- ・ 訓練の種類が少ない

改善策

- ・ 幼稚園教育など、早期から避難訓練を繰り返し行う習慣を作る。
- ・ 災害の恐ろしさや迅速な避難行動の重要性知ってもらい、危機感を持って行動するように促す。



【まとめ】

プログラム全体を通して

- ✓ 日本とマレーシアで防災に対する取り組みに大きな違いがあることに気づいた。
- ✓ マレーシアの学生は、授業においてAIの活用が進んでいることが分かった。
- ✓ マレーシアでは時間や予定に対しておおらかで、伝達や段取りが日本よりも曖昧だと感じた。
- ✓ この短期留学を通して、私たちはコミュニケーション能力や積極性、英語力など、さまざまな面で成長できた。
- ✓ 最後には仲間との絆が深まり、またマレーシアに戻りたいと思えるほど充実した時間になった。

これからに向けて

- ✓ 自分自身の課題（語彙力や表現力、説明の工夫など）を改善し、より自信を持って活動できるようにする。
- ✓ 英語での説明や発信力を伸ばし、海外の学生や多文化の場でも簡単な防災情報を共有できるレベルになる。

